

第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会 議事録

令和2年3月13日、本郷新記念札幌彫刻美術館長 寺嶋弘道が本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会委員に対し、第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会の協議事項について下記の書類を発送し、当該事項について令和2年3月19日までに5名の委員から別添のとおり書面により確認の意思表示を得たので、本運営協議会を開催したとみなされた。

記

1 発送書類

資料1 令和元年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業報告

資料2 入館者アンケート集計

資料3 令和2年度本郷新記念札幌彫刻美術館主催事業

2 返送書類

第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会報告内容についての確認書
別添のとおり

3 意見

竹本:次女が友だちとともに子ども造形教室(冬)に参加し、楽しかったと感想を述べていた。新型コロナウイルスの影響で、臨時休館に見舞われ残念だが、早く収束し、開館されることを願う。

青山:「入館者アンケート集計」のうち「職員の接遇」が高評価である点や作品や展示に関する説明が分かりやすいと指摘されている点は、今後も継続されるよう期待する。

國松:様々な悪条件のなか、大変よく健闘していると感じる。次年度に予定されている「舟越桂展」、「本郷新・全部展」はとても楽しみにしている。「入館者アンケート集計」のうち「記念館 常設展示」の集計結果に見られる「とてもよい」が35%というのは、他の展覧会の集計結果と比べると、低調であり、検討の必要があると感じた。例えば、本郷新研究の成果を如実に反映させるような展覧会づくりもよいのではと思う。

以上

以上のとおり、第4回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会が開催されたことを明確にするため、次に寺嶋弘道館長の押印をする。

令和2年3月20日

本郷新記念札幌彫刻美術館
館長 寺嶋弘道 印